

# 磐城時報

福島縣石城郡平町... 印刷所 磐城時報社... 電話 二五〇

## 早くも美望の的となつた

### 小玉川第一發電所

福島縣石城郡赤井村大字高萩夏井川水係小玉川の沿岸に新しい發電所が設けられたのを遠く小川郷附近の列車の中からも見えるので誰でも氣の附く事であらう。これぞその道の人々から優良發電所として美望の的となつてゐる平町平電氣株式會社の小玉川第一發電所の偉觀である。

### 栗原欣次郎氏等奮闘の結晶 驚嘆すべき發電能力



小玉川第一發電所の計劃出願は、更に五十万圓の小玉川水電株... 遠く大正五年九月に遡る。現平電氣株式會社社長栗原欣次郎氏が小名濱電燈株式會社專務取締役武蔵武千雄氏との協同で、この時代に稀に見る優良水利同社事業として昭和四年九月に權を確信してその使用認可を申請した處、全國知名の實業家又は電氣業者も優等水利權を認め、忽ち東京市山下龜三郎、二本松町田倉孝雄氏等經營者會社の競願となり出願より十一年八月より昭和三年五月十八日栗原小玉川第一發電所工事に着手し、欣次郎氏に許可が下つた。出願から十五年目の昭和六年四月六日八十二萬餘圓の巨費を要する小玉川第一發電所が完成し、六月資本金六十萬圓平電氣株式會社を設立して事業遂行を急ぐ同發電所の取入口は石城郡永戸で居つたが、この有望な發電所の川幅の狭い處を堰しめて四十二

尺の堰堤を築き其水深四十二尺の中程に直徑五尺以上の隧道を造りこれから發電用水を取るのである。

此の式によると砂や泥は沈み、塵埃は上に浮くので簡単な技巧が發電所内の水車の羽車を少しの心配も無くらくに運轉させる事が出来るのである。

この貯水池の面積約四町歩、有効水量二百五十萬方尺と言ふ大量だから大變な計畫である。

この貯水池は半ば人工、半ば天然貯水池で、同所から赤井村大字高萩同計畫の水槽まで九百三十餘間の水路により平水時七十個の水を引き放水するもので有効落差四百一十一尺、發電力は平均時八百五十キロワット、洪水時八百五十キロワットで能力として最大三千二百キロワットに達する。

水路はサイホン式のため二十尺以上の水壓があるため水路周囲に「ウチンク」コンクリートを施してあり、發電所は鐵筋コンクリート、窓はすべて「オペレータ」式である。

此の山間に此の新式の發電の存在は全く驚かされるのである、

### 絶好條件を具備した水利權

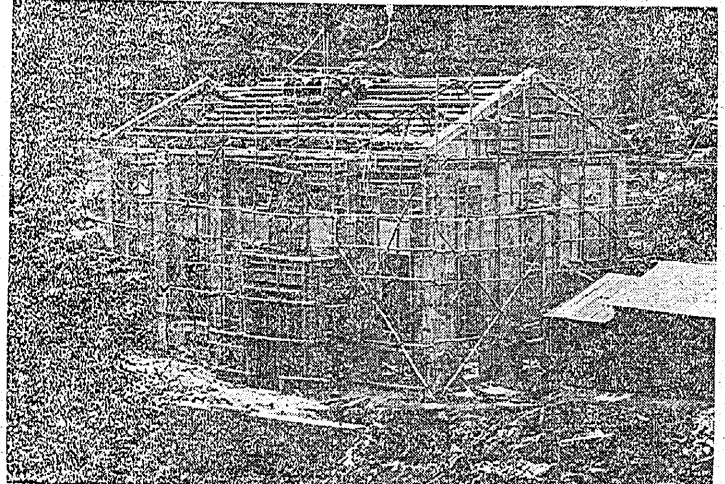
美望視される理由 小玉川第一發電所が何故優良發電所として廣く電氣業者から羨望されてゐるのか? 總て發電所の總工費の八割が水路工事に要するのが普通であるが、同發電所の如く僅か千間の水路で四

## 更に上流に第二發電所

### 工事進捗して近く竣工

#### 一舉兩得の妙案

同會社では更に永戸村大字下永所で金にするので一回貯水毎に井字銅屋場第一發電所取入口上約壹千五百圓宛になるのである。六十餘萬圓で目下工事中で近く完成する筈であるが、第二發電所の取入口は永戸村大字明神平の明神湖と稱する水面約二十町歩、千三百萬立方尺の有効貯水池を有する天然貯水池で、落差二百五十尺、發電力は平均時八百五十キロワット、洪水時八百五十キロワットで能力として最大三千二百キロワットに達する。自動式發電機を設備してゐる。之亦第一發電所同様優等水利權である。つまり第二發電所で使用した水は直ちに第一發電所の貯水池より水路に入るわけで極めて有効に水を利用してゐる。この方式によると第二發電所の第一發電所の貯水池兼調整池であり、池の調整の働きをするのである。つて、此の計劃を具體的に言へば、今後は大抵の洪水は第二貯水池で押さへるのであるからこの下流は洪水と言ふことは知らぬ事となるのである。この大貯水池に一回の貯水をす時はこれは第一、第二の發電



(所電發二第の中事工)

## 勸銀と三井信託で 資金提供に競争

### 利息をまけて 百万圓を貸付く

第一發電所は平電氣株式會社で前途有望な發電所であるが資金の一部として勸業銀行から知り得るであらう。之が償却は四十三萬圓、日立製作所富山加一ヶ年約元利十萬圓宛十六年間藤金次郎から二十七萬圓を借入に完済する事になつてゐるが、之で完成したが、竣工して見る一方發電所よりの収入は一ヶ年と前述の如く優良發電所である。第一發電所十三萬圓、第二同事が判つたので前償却並に第八萬圓、合計二十一萬圓である。第二發電所必要資金は勸業銀行並に毎年十萬圓の償還金を差引に三井信託で遂に貸付け競争のいて十萬圓宛の収入があるわけがたまたま前回は勸銀で利率で、十六年目には現在二百萬圓七分三厘であつたのをだんたん、位に評價されてゐる發電所が下げて五分四厘に低下し三井信託で手取を握るが如く吾が物に托での希望通り百万圓を去月貸付けたので、これを見ても如何

## 大事業に成功した 栗原氏の過去

### 努力と忍耐の賜

平電氣株式會社を創立し遂に今日あらしめた栗原欣次郎氏は如何なる人か? 一言で盡せば努力の人である。忍耐の人である。而も頭腦明敏、緻密の人、計劃の人である。明治四十三年以來發電所を計畫し今日まで縣下至る處河川と言ふ河川は悉く跋渉視察し盡したといふ奮闘家である。明治四十四年廿九才の會社が如何に優良會社であつたか? 栗原欣次郎氏の過去を振り返る。その後栗原氏は電燈會社の設立を計畫し大正二四年電氣株式會社の經營に當り前地方有志者と計り資本金五萬圓同様に五十圓拂込の株が二百圓に圓の四倉電氣株式會社、同一資上り株式の少いものは二百八拾圓の四倉電氣株式會社を創立し圓即拂込の五倍六分に達したので皆持ち株を賣つたのである。栗原氏はこの後平町に平電氣株式會社を創立して經營に努力した結果社運急立した處非常な好成績をあげ毎年

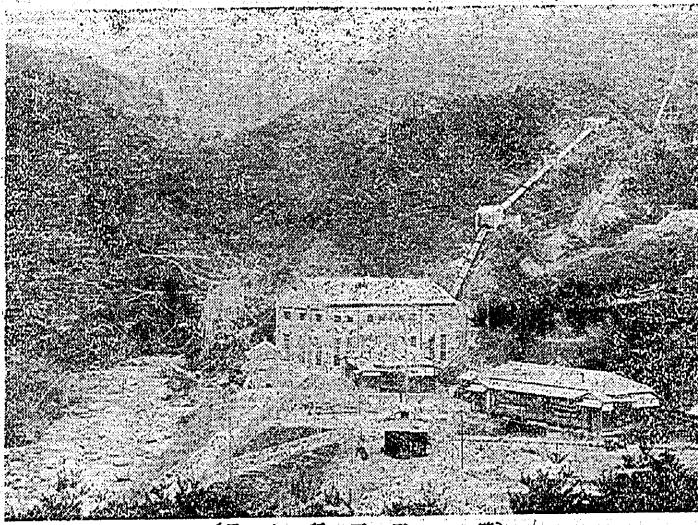
- 創立 大正十三年六月二日
- 資本金 百十萬圓
- 重役
- 社長 栗原欣次郎
- 専務取締役 栗原欣次郎
- 技術長 工程師 濱口 巖
- 取締役 馬目 雄次郎
- 端山 正男
- 萩原 申八
- 佐藤 忠次
- 栗原 一郎

- 監査役 大和田安太郎
- 酒井 龜次
- 相模役 野崎 滿藏
- 佐藤 庄太郎
- 大角 金藏

一割以上三割までの配當が食ひ余りて始末方法を究せ合談突の機關として「浦島會」を...

模範をすべき 従業員待遇

茲に更に特筆すべき事はこの會の會費とこの會費の事であるが、是等は家庭の人々の...



(景全所電發一第)

浦島會の設備 第一回の漁獲荷馬車で三臺 關係者慰安機關

投書は連日机上に山

具体的事實を示せざる當局の談 暴力團狩り意外の進展か

第一次檢舉に次いで平署が敢行した第二次暴力團狩りは悪辣な...

打撃の波はいま絶頂

制覇の野望に燃ゆ 必ず征途につく警中軍

縣下野球ファンを擧げて興奮に素暗らしく真向から投げ下す...

慰さめの會

遭禍の萩原氏 今夕住吉屋本店で...

下宿料踏倒

告訴さる 二町二丁目 太田道雄二七は去る五月...

小名濱商事

役員改選 小名濱町小 會社では此程役員改選の結果...

時間短縮

庶民金庫で 信用組合平庶民金庫では夏期中...

小名濱泥濘

空巢泥濘 小名濱町上 小野義雄方不在中に十七日午前...

Advertisement for 'コンボーク 塩豚' (Konboke Salt Pork) with address and phone number.